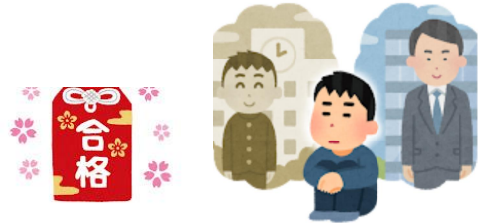


＜仲間(づくり)の大切さ＞ 読んだ記憶がある人がいたらうれしいな(^^)

今まで何度か仲間(づくり)の大切さを話してきましたが、中学3年生はこれから進路を選択する過程で、心が不安定になりやすい時期になります。だからこそ仲間(づくり)が大切だと思うのです。例えば、自分の進みたい進路があるとします。しかし、乗り越えなければならないことがあります。

- ・今の実力で合格できるか、または成績が伸びないという不安
- ・志望校は倍率が高くなるかもしれないという不安
- ・合格しても高校の勉強や部活について行けるかという不安
- ・保護者の意見との食い違いによる家庭内の摩擦
- ・学費や部活などにかかる経済的な心配
- ・通学距離や通学方法の心配
- ・友人と別々の進路を選択する不安
- ・逆に、行きたい進路先もやりたいことも、意欲もない・・・等。



これらを乗り越え志望校を決めた後に、志望校ではない高校から突然舞い込むこともある特待生のお誘い。うれしさのあまり、志望校ではなかったはずなのに、また振り出しに戻って悩み始める進路選択…。逆に特待生のお誘いを期待していたにもかかわらず、お誘いがないことによる自信喪失。

先生方は、二者相談や三者相談をとおして、皆さんがどのような夢を持ち、どんな努力をして、何に悩みながら進路を決めていくことを知ります。だから、全力で応援したくなり、合格して欲しいと思うのです。そのために、高校に提出する調査書(いわゆる内申書)に記入する文章も、少しでも高校の先生方が、皆さんについて良い印象を持つように、大げさな表現になってでもアピールしていきます。そのため一人の調査書を完成させるのに最低2時間はかかり、40人いれば最低80時間以上かかります。これだけ時間がかかるので、先生方はもう調査書の作成に取りかかっています。12月末の私立高校専願奨学の願書提出ギリギリまで、悩みながら何度も文章を練り直していきます。担任の先生は、そんなことをしていることは顔に出さず、毎日の授業の裏で頑張っているのです。担任だけでなく、3年部の先生方は全員で、みんなの夢を共有し、より望ましい進路先はないか、何時間もかけて話し合いをし、担任の先生をとおしてみなさんに伝えています。

では、皆さん同士はどうですか？隣の人が、どんなことを悩んで、どんな努力をして、どんな夢を持っているか知っていますか？それを知ったら、応援したくなるのではないのでしょうか。また、頑張れ！諦めるな！一緒にやろう！と言う気持ちもわき上がってくるのではないのでしょうか。「受験は団体戦！」という言葉が実感できるクラスは多分、お互いにそんな関係なのだと思います。

そして、卒業してもつながっていける仲間になれたなら、大人になって挫折をしたときも弱音を吐けるだろうし、仲間の弱音は聞いて力になりたいと思うことでしょう。

これから「人生の方向性を、いろいろな人の意見を参考にしながら、自分を見つめて決断する」という経験をするなかで、自分のことだけでなく、そういう仲間そういうクラスになって欲しいと思っています。今回は3年生を中心に書きましたが、仲間(づくり)が大切なのは、1、2年生でも同じです。

＜地区別人権教育研修会＞

11月12日(水)は、熊本市一斉に地区別人権教育研修会が開催されました。本校からは、川上先生が学校代表としてこれまでの取組を発表されました。閉会后、参加をされた他校の校長先生方から、川上先生の実践についてお褒めの言葉を聞くことが出来ました。川上先生、授業だけでなく、駅伝や部活等お忙しい中、ご準備等大変お疲れ様でした。

